

～ありがたいご勝縁に出会う～ 本山伝灯奉告法要に団体参拝しました!

第25代専如門主 伝灯奉告法要記念



御影堂前にて記念撮影 (29.4.14)



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会
朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

▼二十五年ぶりに行われた本堂をはじめとする諸堂の大改修工事が五月一杯で終了いたしました。▼これは一昨年より計画された事業で、皆様よりご協力いただいた「護寺協力金」のおかげであります。▼これは一人一人のお力が積み重なってできる事業で、今後おきる大きな事業や法要がありましても即応できる、財務体質改善策であります。五月五日付けの当寺ホームページにも記しましたが「蟻の穴から堤が崩れる」とのことわざの反対で、小さな善意も回を重ねることにより大きな役割を果たすと思います。▼差し迫って見える事実だけにとらわれたり、将来を見通せないようでは子孫に禍根を残すこととなります。▼人生もまた同じで、人間は必ずその終焉を迎えます。その場になってあわてることなく、行先を明確にしておく必要があります。▼「我に任せよ、我が名を称えよ、必ず浄土に生まれさせよう」との本願を信じ、安穩なる日暮しをしたいたいです。▼そのためにも、これからは一年の中でも一番良い季節です。一度でも多く聞法の座に連なり、み教えの法水に心身を浸し、収穫の夢を追って心の田を耕しましょう。▼ファミリー参拝・早朝連続参拝と教化活動の山場を迎えます。▼六月十一日(日)は一年に一度、浄土真宗に直接は関係のない著名な先生をお迎えして、第六回早朝公開講座が開催されます。今回は講師の先生と関わりのあるお客様もお迎えしての講座となります。▼私共にも関心の高い「幸せ感」についてお医者さんの立場から「世界最長寿命国で幸せに生きるために」と題してお話をいただきます。▼お寺が社会に向けて発信する社会活動の一環です。外壁等の大規模補修工事が終わり、化粧直しされた本堂・会館をご覧いただきがてら是非ご参拝・ご聴講下さい。

釋 玄真

寺院行事

- 6月11日(日) 第6回早朝公開講座 前 7:00
講師 佐伯 晋先生 (大阪府)
- 7月 8日(土) 第34回ファミリー参拝 後 6:00
- 8月 1日(火) ~10日(木)
第38回早朝連続参拝 前 5:30
- 8月 6日(日) 新盆合同法要 前10:00
- 8月16日(水) 孟蘭盆法要 前10:00

定例法話会

- 6月20日(火) 講師 結城 道哉先生 (愛知県)
- 7月20日(木) 講師 青木 哲静先生 (富山県)
- 8月20日(日) 講師 嶋倉 崇雄先生 (長野市)
- 9月20日(水) 講師 苅谷 光影先生 (広島県)
- 10月20日(金) 講師 西原 竜哉先生 (千葉県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

平成二十九年度年次総会の報告

平成二十九年度敬念寺門信徒会年次総会が四月二十九日開催され議長に木下正一氏を選出し、議案審議が行われた。(以下概要を報告)

★平成二十八年度事業・決算報告を承認。続いて、敬念寺中・長期ビジョン検討状況を千原会長がパワーポイントで報告した。

★この報告では、財務基盤強化対策として新設され、一年経過した護寺基本金会計・「護寺協力金」の状況、継続検討しているその他の項目(全体では八項目、百十七号二頁参照)を概略報告。門信徒の悩み要望等への対応など、今後方向付けされたものから、皆様に広報していくことが説明された。

★続いて、平成二十九年度事業計画・予算の各案が提出され、審議の結果すべて承認され総会の幕が閉じられた。

なお、総会に先立ち退任お世話人へ感謝状と記念品を贈呈、新任お世話人へ委嘱状が手渡された。

―お世話人の異動―

四月二十九日付

退任 長い間ご苦勞様でした。

- 平田 利夫さん(内山)
- 楡井 清三さん(神明町一)

新任 よろしくお願ひします。

○地区世話人

- 宮原 清さん(神明町二)
- 小松 真一さん(山下町一)
- 中村 久明さん(本町四)
- 矢野 保夫さん(川岸東一)
- 後藤 豊さん(天竜町三)
- 此田 滋さん(赤羽一)
- 曾根 行次さん(長地御所一)
- 大洞 軍治さん(神明町三)
- 中屋 英雄さん(長地今井)
- 高橋 茂さん(長地出早二)
- 高橋 栄さん(長地片間町一)

- 岡本 聡さん(内山)
 - 百瀬 武良さん(神明町一)
 - 堀内 今朝由さん(神明町二)
 - 足助 正一さん(山下町一)
 - 熊崎 定男さん(本町四)
 - 川窪 輝子さん(川岸東一)
 - 宮坂 達雄さん(天竜町三)
 - 古屋 文平さん(赤羽三)
 - 大滝 清人さん(長地権現町二)
 - 成沢 時男さん(神明町三)
 - 戸部 雅之さん(今井)
 - 臼田 明彦さん(長地出早二)
 - 小池 光二さん(長地片間町)
- 委員会付世話人
- 西山 周治さん(財務委員会付)
 - 足助 正一さん(会報組織委員会付)



(新任のお世話人を委嘱 29.4.29)



(退任のお世話人に感謝状贈呈 29.4.29)

～写真で見る本堂・会館・庫裏大規模営繕工事の状況～

前号2頁でお知らせした寺院の保守・営繕工事が行われました。(工期 29.4.1～5.31)
外壁等塗装が中心で進捗状況が見えにくい工事でしたが、以下の写真で状況を報告いたします。



(本堂屋根入母屋にも足場 29.4.9)



(寺院を取り囲んだ足場 29.4.9)



(外壁塗装のためシートで保護 29.4.23)



(東側からの様子)



(会館玄関での作業の様子 29.5.1)



(足場を撤去 29.5.25)

—寄稿文紹介—

本山伝灯奉告法要団体参拝には総勢三十五名が参加されました。ご縁があり、松本から参加された方から感想文を寄せていただきましたので紹介します。

研修親睦旅行に参加して

松本市 永井 時彦

和氣藹々の敬念寺ご門徒の皆さんの一員に加えていただき、荘重な西本願寺御堂にて、宗門の重要儀式「伝灯奉告法要」に参列。お念仏や正信偈を唱和しつつ、声は堂内に響き渡っているのに、心の中は、静が拡がっていく感慨を得る。なんと不可思議……。

自宅仏壇での毎朝のお参りは、木曾の実家の宗旨で「南無釈迦牟尼佛」とお称えしているの、今回同行させていだいてよいものやらと逡巡したのですが法要の案内書に「伝灯奉告法要とは……宗門内外によびかけて、一人でも多くの方に参拝していただくことを期してお勤めさせていただく……」との趣旨が述べられていたので安堵して松本から参加させていただきました。

法要では、「南無阿弥陀仏」のお念仏を心置きなく心底より称え、ご門主の益々の隆盛を念じ申し上げました。

翌日のご晨朝参拝では備え付けの経本をお借りして、皆様のご唱和に口は合わせつつ、目は下欄の訳文を見て意を解そうと脳内多忙なお勤めをいたしました。

御影堂の親鸞様の深黒色のお仏像のお手に携えたお数珠の房は、敬念寺から進納された絹糸とのこと、改めて房のゆかしい純白に見入り合掌……。

参拝が終わり、一路「天橋立」へ。以前訪れた時と違い、今回は素晴らしい好天に恵まれ、股のぞきでは緑映がくつきりと望めた。

次に兵庫県の城崎温泉へ向かい、ホテル入館前に隣接のマリンワールドへ。イルカの見事な演技と愉快なアシカの演技に思わず拍手喝采し

ました。

ホテル金波楼での夜の宴会では、ご門徒の皆さんの「連帯感」が快く盛り上がり、どのお顔もご満悦一杯で楽しいひと時でした。

三日目は、ご住職の広い見識で選定された目的地、丹後山地但東町山深くの「東光寺」へ。自坊の住職を勤めつつ、教師として、村を育てる学力で重厚な実績を残した「東井義雄」先生の足跡を訪ねた。東光寺本堂で坊守様からお話していただき、東井先生のご功績をさらに偲ばせていただいた。本研修親睦旅行最後の予定地「彦根城」は時間の都合で車窓より仰ぎ見て、いずれ又となる。

今回の旅行にお仲間入りさせてもらい、心ひとつにして結束されて和やかな空気の皆様の雰囲気の中に、どつぷりと浸らせていただきました。本当に良い旅をご一緒させていただき感謝で一杯です。

敬念寺様とご門徒の皆様のご隆盛をお祈りいたします。

(紙面の都合で原文を一部編集させていただきます。)

—門信徒投稿ひろば— ①

春の彼岸法要に参加して

長野市 北原 陽香理(小五)

私のおばあちゃんは、去年亡くなりました。

彼岸法要に家族で敬念寺に行くのと、たくさんの方が集まっています。私はお母さんの横に座りま

した。初めて見た本堂は金色の豪華でした。少ししてから、お坊さんが二人で、お経をあげました。お経はむずかしくてよく分かりませんでした。そのあとお焼香をしました。

お焼香は今まで何回かやったことがあるけどいつもやり方が分からなくなってしまうお母さんといっしょにやりました。

お経が終わってお話を聞き、最後にお菓子を食べて帰りました。

おばあちゃんのお骨は、敬念寺さんに預かってもらっています。お経をあげてもらい、おばあちゃんも喜んでいてと思います。

彼岸法要ありがとうございました。



(陽香理さんの原稿)

一門信徒投稿ひろば②

趣味を通して

岡谷市 宮崎 勝重

ご住職から寄稿の依頼があり少し戸惑いましたが、私がずっと続けている趣味の卓球のことなどを書きたいと思います。

私よりはるか上位で、頂点を極めている人達がいる中で、自分など恥ずかしい限りですが、卓球(その頃はピンポン)を始めたのは、小学五・六年頃です。その時は、まだ道具もない手作りのラケットで、打った球を相手に返す、それを打ち返す・・・と、そんな単純なやり取りがいつか我を忘れ夢中になり、休みの日などあちこちの公会所に向き、年上の上手な人達と、自分なりに考えながらやっていたことが思い出されます。

一時期、卓球は室内競技のため暗いスポーツのイメージがありました。誰でも一度はやったことのあるのが卓球ではないでしょうか。一口で言い表せませんが奥の深いスポーツであると思います。

そんな中で、数十年続けてきて一番の収穫と言えば、いろいろな人達に出会えたことです。県内ばかりでなく、九州く北海道と日本各地の方達と顔なじみになり、試合会場で再

会してコミュニケーションが持て、勝負ばかりでなく得られたことの二つです。

もう一つの趣味として将棋が好きで、やはり小学生の頃から今でも続けています。

卓球が「動」であれば、将棋は「静」でしょうか。まったく違うものに見えますが、共通点はありません。

「人との繋がり」、「あきらめない精神」、「礼儀」、「大会での緊張感」などです。それらが、私にとつて得難い宝物になってきたと自負しているところです。

今回投稿の機会がなかったら、改めて自分を振り返ることもなく過ぎていたと思います。

これからも元気な限り、無理なく続けていけたらありがたいと思っています。

歌壇コーナー



岡谷市 吉池富貴勇

臥す妻も 居れば幸せ大事にと

夏の夕暮れ 畑仕舞いおり

一合の米を洗えば一粒が

流れ落ちたり 行き先知れず

点滴を友とし半年病棟の

窓より見上ぐ 母校のさくら

トピックス

婦人部の総会が五月一日本堂で開催され、今年度の事業計画が決まりました。

今年度は滋賀教区仏教婦人会連盟「聞法の旅」一行が四班編成で、七月三日く六日の間、敬念寺を訪問します。当日は婦人部の皆さん総出で接待しながら、当寺の教化活動などを紹介いたします。

西本願寺おひざ元の滋賀県から、大勢の皆さんに足を運んでいただけるとは有難いことであり、今後の婦

人部活動の励みにもなるものと思います。



(総会のあとマジックショーでお楽しみ！29.5.1)

第6回 敬念寺早朝公開講座

今年も早朝公開講座を下記のように開催いたします。

講演の要旨：我が国の平均寿命は男性80.5歳（世界第6位）、女性86.8歳（世界第1位）と常に世界最長寿国に仲間入りしています。しかし、幸福度も世界レベルか？と問われると答えに窮してしまいます。長寿の要因や幸福度を測る物差し、世界的視野に立って“健康”と“幸せ”を両立させる方法を考えてみたいと思います。

時・所 6月11日(日) 敬念寺本堂
前7:00~8:30
講師 佐伯 晋先生 (大阪文学協会理事・医学博士)
講題 「世界最長寿の国で幸せに生きるために」

編集後記

本山伝灯奉告法要団体参拝も無事終わり、いよいよ今年度の教化活動が本格始動します。

上記の案内記事のとおり、まずは、六月十一日に「早朝公開講座」が計画されています。

先月の門信徒年次総会席上、ご住職は挨拶の中で、「行動ある念仏者に！その輪が広がるように！」と話されました。

毎朝七時のお勤め、日曜礼拝、毎月二十日の定例法話会、ファミリ―参拝、早朝連続参拝、報恩講法要、彼岸法要等々浄土真宗の「み教え」に触れる機会が多くあります。お誘いあわせてどうぞお出かけください。

(白田 記)

― 研修親睦旅行で
本山参拝と山陰地方へ ―

この度の本山伝灯奉告法要参拝をメインに、研修親睦旅行が実施されました。

三十五名参加のもと、四月十四日に伝灯奉告法要に参拝、当日は聞法会館に宿泊。翌朝一行はご晨朝のお勤めに参加した後、「天橋立」へ。途中は強い雨でしたが現地では素晴らしい晴天で、天に架かる橋をのぞき見ることができました。

二日目は城崎温泉で宿泊し、楽しい一夜を過ごしました。最終日は豊岡市但東町にある「東井義雄記念館」で先生の業績に触れた後、生家の「東光寺」を参拝。またとないご勝縁に出遇えた旅となりました。



(晴れ渡った天橋立にて 29.4.15)



(道路沿いに建つ東井先生顕彰碑・後方が東光寺)



(東光寺で坊守様のお話を聞く 29.4.16)

七月末日までに!
門信徒会費と護寺協力金のお願い
 今年も寺の維持管理の資金、更なる教化活動の振興のため、会費と護寺協力金のお願いに担当のお世話人が近日中にお伺いしますが、ご協力の程お願いいたします。
 ○ご依頼額は年間三千円以上
 ※以上分が「護寺協力金」となります。



(故小池紫吹さんの49日の法要にて:29.5.9)

No.11
シリーズ 住職さんといっしょ!
― 小池将太氏のお子さん
(心葵南ちゃんとお燐桜君) ―

― 「護寺協力金」について御礼とお願い ―

財務基盤強化の一環として昨年度「**護寺協力金**」が新設され、今年で2年目となりました。
お世話人を通じ、年度会費3千円徴収の際にご協力をお願いしております。
 お陰様で昨年度、多くの皆様はその趣旨をご理解いただき、約500人の方々に60万円余の尊い浄財をお寄せいただきました。
 この浄財は、全額「護寺基本金」に積み立てて、大規模営繕・大規模法要等の費用に備えています。今春の「本山伝灯奉告法要・門徒懇志金」、今回の「寺院大規模保守・営繕工事」の費用もこの会計から支出され、皆様からこのためのご負担はありません。
担当のお世話人がお伺いした折には、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

敬念寺門信徒会 会長 千原 博幸 財務委員長 谷腰 富春